



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

サウジアラビア：女性弁護士への期待

(5月11日付オカーズ紙)

1. サウジにて初の女性弁護士の研修用免許登録が正式に受け付けられ、司法を学んだ女性たちの期待が高まっている。これは22年の歳月を経て行われたことであり、これにより女性弁護士が独立して活動できることが期待される。過去には限られた活動しかできなかったことから、これはサウジにおいて歴史的な瞬間と言える。
2. 専門家たちは、昨今の社会情勢を受けて、女性弁護士の活動は、主に家庭問題解決において、ニーズが高いと述べている。
3. サウジの法令によると、司法に関する学位を取得後、法律事務所で3年の勤務経験を積んだ後に、正式に独立した弁護士としての活動が認められる。今回の免許登録は、法律事務所で勤務経験を積むための研修用免許登録が行われたというだけで、実務用免許登録が行われたわけではない。そのため、今回、研修用免許登録が行われた女性弁護士が3年の勤務を終了した後、早急に実務用免許登録が行われることが期待される。また、司法に関する学位取得後、研修用免許登録なしに3年以上の実務経験を積んでいる女性弁護士の卵は多いと言われ、実務用免許登録を彼女たちのたちのために行うべきだとの声もある。